

NORITSU

face the NEXT

中期経営計画の進捗 (2020年3月期～2021年12月期)

2020年9月4日

ノーリツ鋼機株式会社

証券コード：7744（東証1部）



■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

■ 事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。

連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

1 本計画の位置付けとこれまでの進捗

2 今後の事業重点施策と財務戦略

3 Appendix

中期経営計画のアップデート/変更点

2019年3月に公表した中期経営計画につき、事業ポートフォリオの再編に伴うアップデートをいたしました。

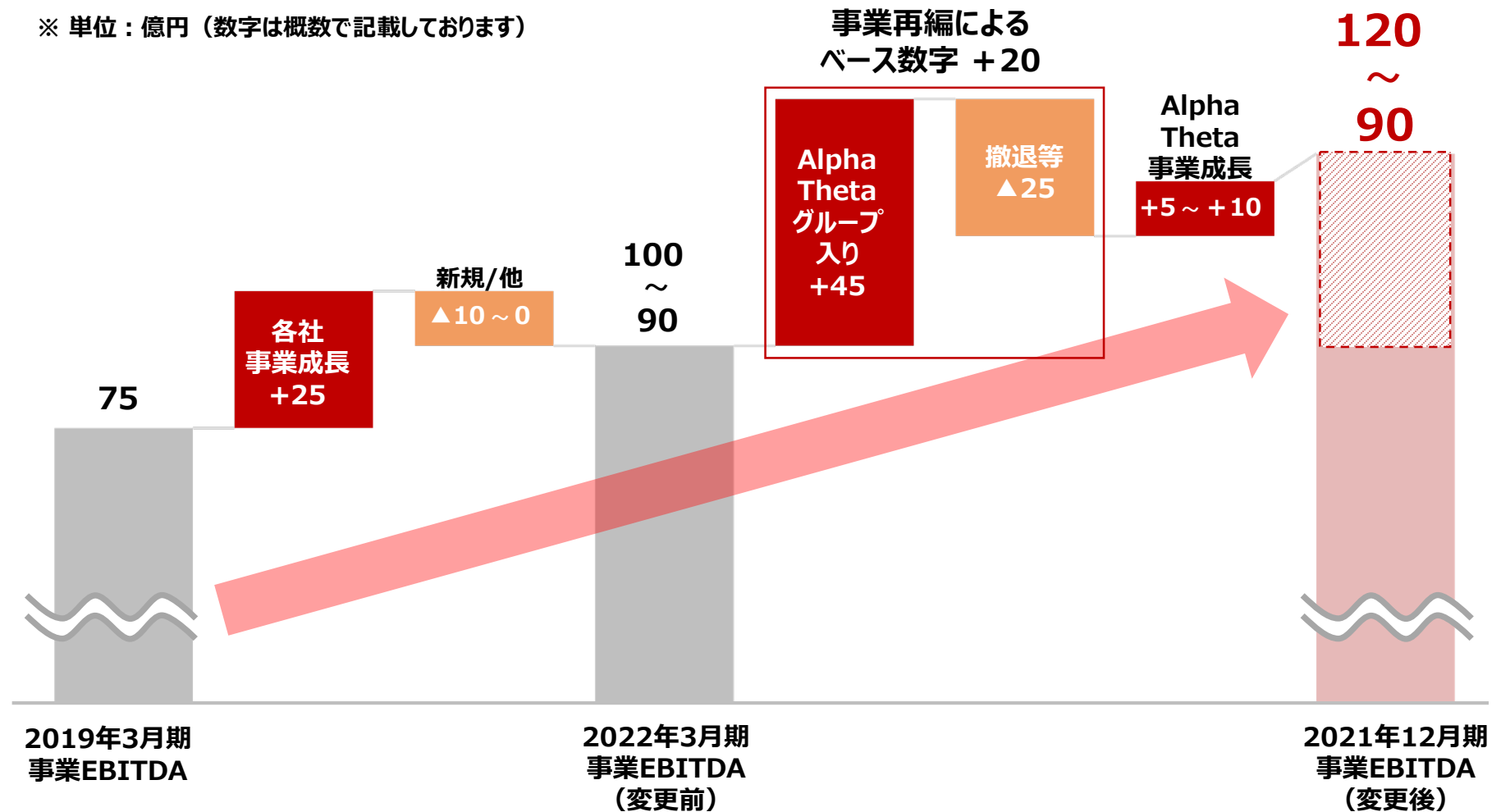
主な変更点は下記のとおりです。

	主な変更点	変更前 (2019年3月公表時)	変更後
1	中期経営計画 の対象期間	2020年3月期～ 2022年3月期	2020年3月期～ 2021年12月期
2	経営目標 (事業EBITDA)	90～100億円	90～ 120億円

経営目標（事業EBITDA）の内訳について

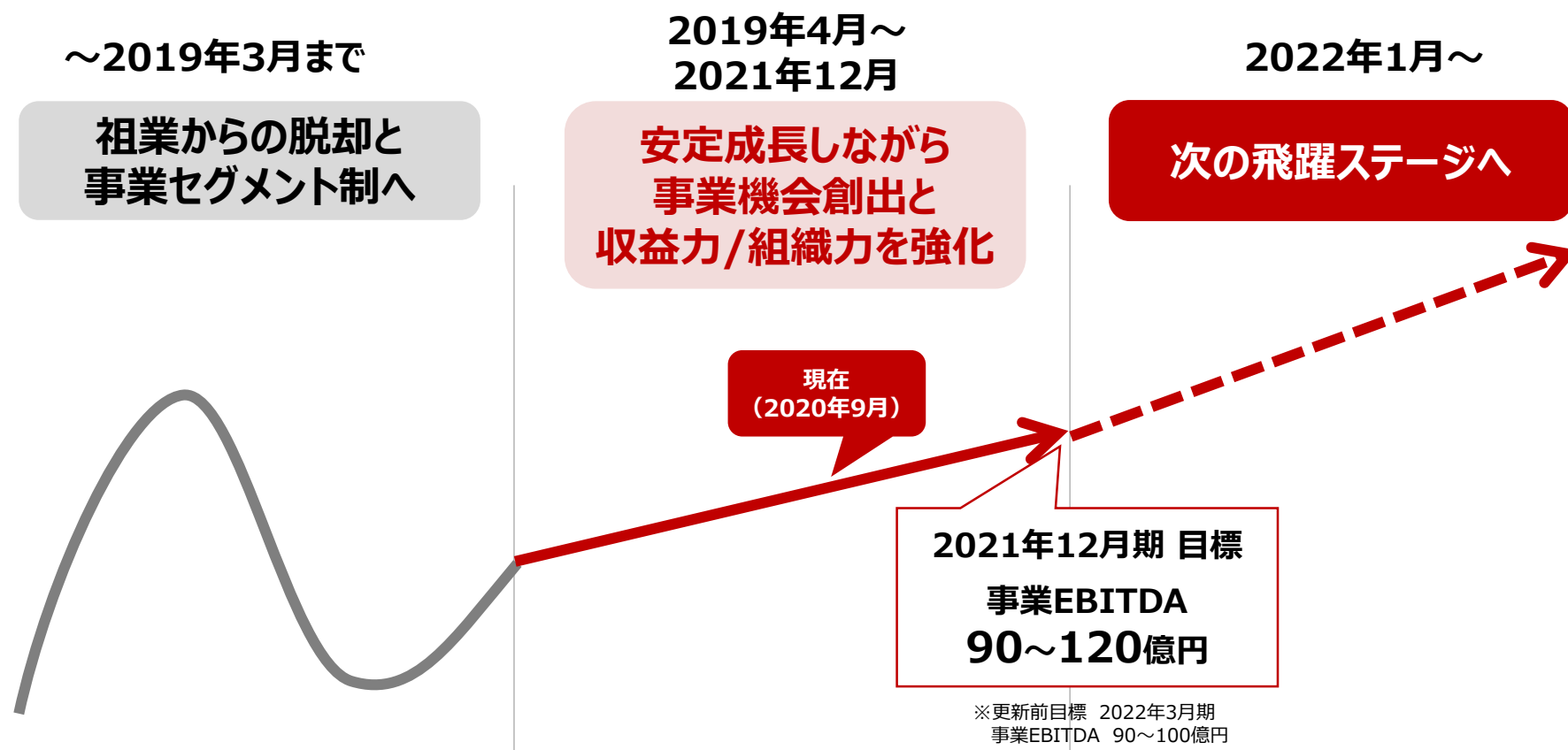
通期事業EBITDAの内訳

※ 単位：億円（数字は概数で記載しております）



更新) 本中期経営計画の位置付け

本計画は、安定成長を継続することを前提に、次の飛躍に向けた準備を完了することを目的にしております。なお、当期より3月末→12月末へと決算期を変更したことに伴い、本計画を**2021年12月まで**といたします。



Mission

存在意義

社会と人々に豊かさを

Vision

将来の姿

No.1/Only1を創造し続ける事業グループ

Value

行動指針

時代のニーズを掴み、一歩先を考える

生活を豊かにする商品/サービスを追求する

成長性と革新性を尊重し、チャレンジを応援する

Vision

将来の姿

No.1/Only1を創造し続ける事業グループ

重要施策1

基盤事業の収益力を高め、成長継続

重要施策2

育成/成長分野へ適切な投資（創造と拡大）

重要施策3

グループ経営システムの再構築とシナジー創造
（財務健全性、グループ経営体制強化、DX※、IR/PR）

※DX=デジタルトランスフォーメーションの略

重要施策の進捗サマリー（2020年8月末時点）

重要施策1

基盤事業の収益力を高め、成長継続

- 事業ポートフォリオを再編。No.1/Only1事業を追求し、コア事業をものづくり及びヘルスケアと定め、それ以外の既存事業すべてから撤退P.10～12
- ものづくり-部品・材料において、ソリトンコーポレーションの買収（コスメ事業の強化）
- ものづくり-部品・材料において、新工場の建設着手（MIM事業の強化）
- ヘルスケア-医療情報において、JMDCグループの上場（2019年12月）と更なる成長
- ヘルスケア-医療情報において、JMDCグループを中心とした構成へ

重要施策2

育成/成長分野へ適切な投資（創造と拡大）

- ものづくり-AlphaThetaを買収・グループ化、コア事業の1つに（音響機器関連）P.13

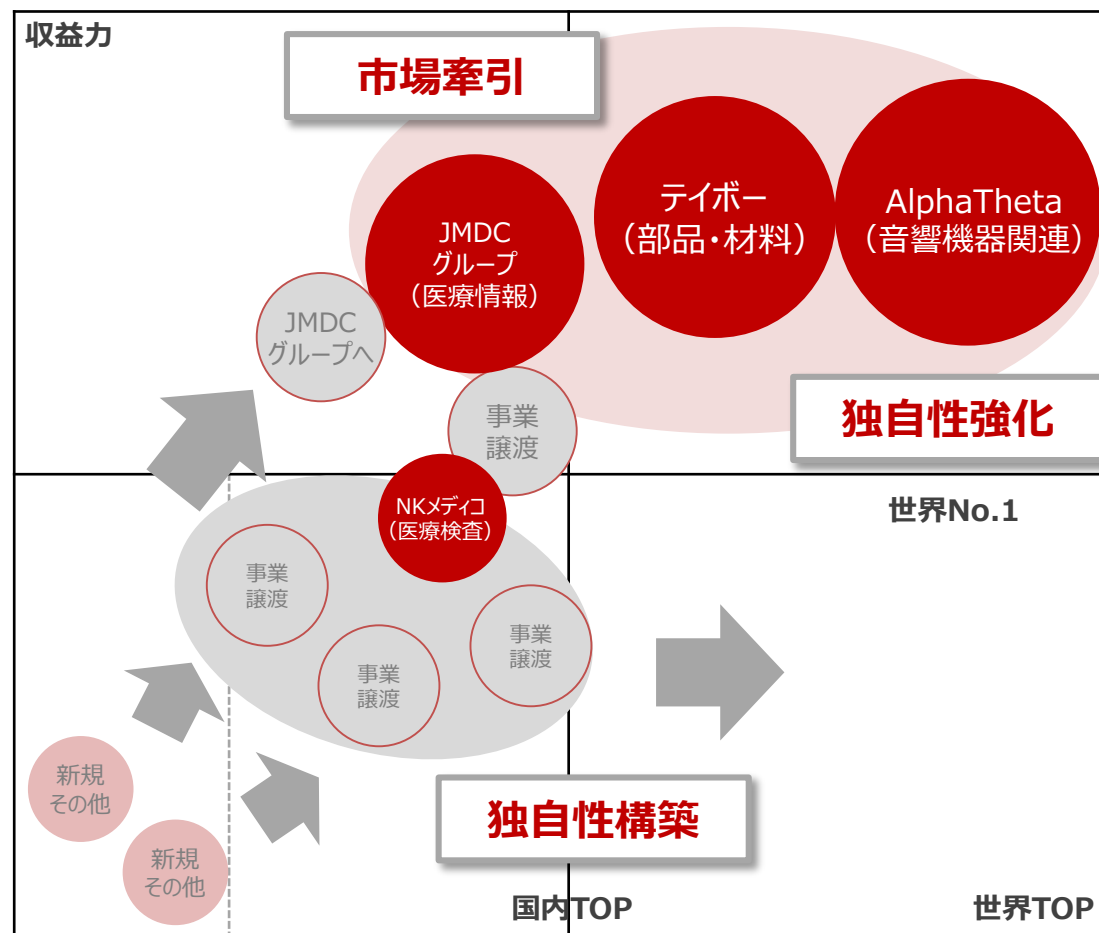
重要施策3

グループ経営システムの再構築とシナジー創造

- 財務健全性と資本政策（保有株式の売却等）P.14
- ガバナンス強化（取締役会と執行機能の明確化、指名報酬委員会の設置）P.15
- コーポレートコミュニケーションの強化（IR、開示資料、英語化、動画配信等）P.16

No.1/Only1に向けたポートフォリオ再編

基盤事業の収益力を高め、成長を継続。独自ビジネス/サービスで、
No.1/Only1になり、市場を独走（独創）、質の高いキャッシュを創出



＜進捗状況＞

- MVV、競争優位性、成長戦略、IRR等に基づいて、各事業の可能性を評価。コア事業を特定
- 選択と集中により、経営資源の配分を適正化。過去最大規模のM&Aを実行した一方で、撤退等も迅速に実行
- 結果、EBITDA率は再編前の12%→20%に上昇
- 今後もマーケットに柔軟に適応し、リスクに強く、成長性高い事業体へ

コア事業の再定義について

事業ポートフォリオの再編によりコア事業を「ものづくり」「ヘルスケア」と再定義し、報告セグメントを変更しております。

再編前

ものづくり	テイボー ソリトン	
ヘルスケア	JMDCグループ NKメディコ ジーンテック フィード	…2019年12月上場 …株式譲渡 …株式譲渡
創薬	日本再生医療	…株式譲渡
シニア・ライフ	ハルメク 全国通販 日本共済 健康年齢少額短期保険	…株式譲渡 …株式譲渡 …株式譲渡（予定） …株式譲渡
アグリ・フード	NKアグリ	…撤退
その他	新規事業	…撤退/株式譲渡

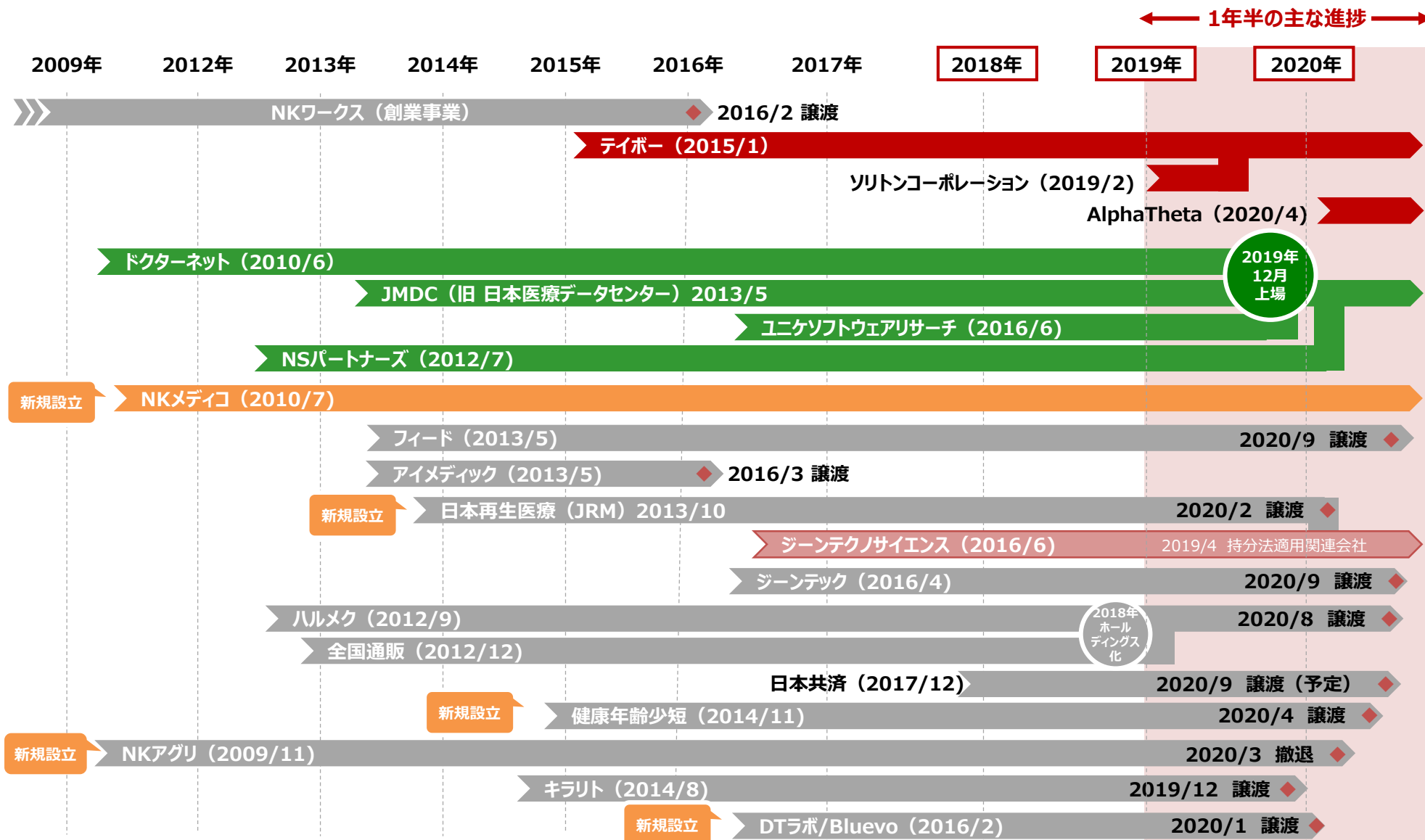
現在

<主な事業会社>

ものづくり	部品・材料	テイボー ソリトン
	音響機器関連	AlphaTheta
ヘルスケア	医療情報	JMDCグループ
	医療検査	NKメディコ
その他		

参考) 事業ポートフォリオの再編

※2020年9月1日更新



AlphaThetaのグループ化について

2020年4月より、「Pioneer DJ」で知られるDJ機器がグローバルトップシェアを誇る、業界最大手のAlphaThetaがグループに。
過去最大規模のM&Aとなるも、足元はコロナ禍でも堅調に事業進捗し、グループ内で最大の利益額を創出。

※詳細については4/3公表の「特定子会社の異動を伴うAlphaTheta 株式会社の株式取得のお知らせ リリース補足説明資料」を参照ください。

ノーリツ鋼機が目指す姿

コア事業である
ものづくりセグメントの強化

グローバルシェアを高め、
収益力を向上させる

事業成長を重視し未来へ投資、
中長期で成長し続ける会社へ

AlphaThetaグループインの意義

- **グローバルでのトップシェア**
→独自性を強化し、市場を牽引
- **「技術」「品質」「開発力」に基づく、ものづくり事業（基盤）の拡大**
- **本物志向**
→世界中のプロフェッショナル、ファンから支持
- **心身ともの豊かさの追求**
(エンターテインメント、ライフスタイル)
- **磨かれたプロダクトからサービスへ**
→利用するシーンでの「体感」や「体験」の共有機会を創造していく

成長投資を行い更なる企業価値向上を目指す一方で、新型コロナウイルスの影響拡大を想定し、手元流動性の確保に取り組みました。

その結果、現金性資産を2020年6月末には売上収益の10か月分相当を確保でき、2020年12月期末には売上収益の1年分相当を確保できる見込みです。

＜これまでの主な取り組み＞

・ 保有上場株式の売却

✓ 2020年2月に保有していたPKSHAの全株式を売却しました。

・ 新株予約権の消却

✓ 2020年3月に将来の希薄化を防止するために新株予約権を取得し消却いたしました。

✓ 取得対価には子会社株式を活用し、手元資金の流出を抑えました。

・ JMDC株式の一部売却

✓ 2020年6月にJMDC株式の一部を売却し手元流動性を高めました。

当社及びグループ各社は、企業価値を高め、株主の皆様やお客様から信頼され支持される企業となり、企業の社会的責任を果たし、迅速かつ適正な経営判断と競争力の強化を目指したコーポレート・ガバナンスに取り組んでおります。

＜これまでの主な取り組み＞

- ・ 当社グループの持続的成長と、企業価値の向上、目指す姿をご理解いただくため、**中期経営計画を策定**
- ・ 経営環境の変化に柔軟に対応するため、経営体制を見直し。取締役会は監督機能を重視し、社外取締役を過半とする一方、執行役員体制を刷新、**迅速な意思決定と実行力が発揮できる体制へ**
- ・ **指名・報酬委員会を新設**

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、当社をよりよくご理解いただけるよう、改善に取り組んでおります。

＜これまでの主な取り組み＞

- ・ **ホームページリニューアル（2019年6月）**

- ✓ マルチデバイス対応、英語化対応をいたしました。
- ✓ 沿革、事業紹介、サービスリリース等、コンテンツを拡充いたしました。



- ・ **IRコミュニケーションの強化**

- ✓ 各種案件リリースや四半期毎決算において、補足説明資料での情報開示の強化に努めております。
- ✓ 事業理解を深めていただくため、ファクトシートを準備しております。（2020年9月中予定）

- ・ **デジタル化の推進（動画配信活用）**

- ✓ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた対応として、定時株主総会および決算説明会ついて、動画配信（オンライン）を開始しております。

1 本計画の位置付けとこれまでの進捗

2 今後の事業重点施策と財務戦略

3 Appendix

ものづくり-部品/材料

T E I B O W

テイボー株式会社

世界トップシェアのペン先事業を中心に、卓越した技術開発力でコスメ事業やMIM事業など新分野へ挑戦し、新たな市場を開拓する

・筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材等の製造・販売

ものづくり-音響機器関連

AlphaTheta

AlphaTheta株式会社

グローバルトップシェアを誇る「Pioneer DJ」で知られるブランドで革新的な商品・サービスを創造し、音楽文化の発展に努める

・DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・および販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

ヘルスケア-医療情報

J M D C



株式会社 J M D C

国内最大級の医療ビックデータとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現、医療ビックデータが持つ可能性を追求し新たな価値創造、社会へ還元

・ヘルスビックデータ事業、遠隔医療事業、調剤薬局支援事業

ヘルスケア-医療検査

NKmedico

NKメディコ株式会社

梗塞・心筋梗塞のリスク検査「LOX-index®」をはじめとする様々な予防医療サービスを提供、日本発、予防医療のグローバルカンパニーを目指す

・予防医療事業、最先端医療の技術研究・開発事業

テイボーグループの方針/重点施策

T E I B O W

世界トップシェアを誇る筆記事業で培ったコア技術を極め、様々な産業のお客様と共に新しい価値を創造していく。

筆記事業を基盤としつつ、成長性ある他事業を育て、売上収益2倍規模を目指す。

事業	重点施策
筆記	・世界No.1の圧倒的シェアを維持し、新興国などへ販路拡大 ・世界中の筆記/文具メーカーと一体となった魅力ある製品の創出
コスメ	・先端加工技術を極めたNibサプライヤーとして、コスメ商品へ付加価値を提供 ・ソリトンのグループ化により、PBTブラシなど世界へ誇れる技術商品の提供
MIM	・新しい素材/製法により、世界中へ販路を拡大（世界市場は2,500億円） ・コア技術の確立と世界レベルの品質確保、生産体制の強化
新用途他	・芳香剤やスタイラスペン、医療分野製品など、新しい業界への技術の応用

AlphaTheta

世界No.1ブランドであるDJ機器事業を中心に進化と成長を通じて、「音楽で人をつなぐ」価値を提供。

現在主力のDJ機器事業に加え、ソフトウェアや周辺サービスを事業として大きく成長させ、2桁成長、売上収益2倍規模を目指す。

事業	重点施策
DJ機器	・顧客ごとの特性に合わせて、差別化製品を市場へ投入、収益の維持/拡大 ・ハードウェア（DJ機器）を通じて音楽制作活動の楽しさや体験、満足度を上げる ・顧客と持続的な関係を構築し、新しいビジネスモデルでの収益基盤の創立
新領域	＜デジタルサービス事業の拡充＞ ・「モノ」×「ソフト・サービス」によるDJライフのトータルソリューション提供 ＜DJ人口拡大に向けた取り組み＞ ・DJの楽しさをよりカジュアルに体験し、それを人々と共有できる仕組みや場の提供

AlphaThetaの成長領域





**JMDCの強みである、ヘルスビッグデータと遠隔医療の競争優位性を活かし、医療現場及び社会生活者に対するサービスを充実させることで価値あるデータを蓄積し、今後の収益機会を最大化。
高い成長性＝2桁成長の継続を目指す。**

事業	重点施策
ヘルスビッグデータ事業	・「高付加価値化」×「データ種類拡充」を通じたデータ提供事業の取引額の最大化
遠隔医療事業	・遠隔診断プラットフォームの拡充と、日本とアジアにおけるメディカルナレッジの共有
調剤薬局支援事業	・社会生活者と医療とのタッチポイントとして位置づけ、メディカルサービスの開発



健康診断・人間ドックのオプションのリスク検査としては、国内No.1の実績を持つLOX-index®のさらなる成長、および周辺サービスの拡充を推進し、高い成長性＝2桁成長の継続を目指す。

事業	重点施策
医療検査	・既存のリスク検査ビジネスのさらなる拡大 - 受診可能医療機関のさらなる拡大 - 導入済医療機関1施設当たり出検数のさらなる向上 ・LOX-index®検査を起点とした周辺サービスメニューの拡充 - 検査受診後のアフターフォローの強化
新領域	・第二、第三の柱となる新たな事業ビジネスの開始 - 進行中の研究開発案件の深耕 - 新たなシーズ探索の強化 ・拡大するビジネスを支える経営体制、組織体制の強化

補足) NKメディコについて

NKメディコ株式会社は、この度、新規株式公開（IPO）に向けた準備を開始することをご報告いたします。

現在、NKメディコはLOX-index[®]検査に代表される、これからの時代に必要とされる新たな予防医療の検査サービスの提供を目指して、予防医療事業および最先端医療の技術開発事業を推進しております。

株式上場により調達した資金を活用し、予防医療事業をさらに推進し、成長著しいヘルスケアマーケットにおいて、NKメディコの企業理念通り、日本発、予防医療のグローバルリーディングカンパニーを目指します。

上場時期については未定です。

ROE8%以上を目先目標とし、コア事業のキャッシュ創出力及び資本効率性を引き続き高める

成長投資はしながらも、継続的かつ安定的な株主還元を実施

次の中期経営計画に向け財務指標（ROIC、CCC*¹等）の導入を検討

キャッシュフロー 創出

- ・ 事業EBITDAマージンを**20%以上**
- ・ 余剰資産の処分、資産圧縮により資本効率性を向上

成長投資

- ・ コア事業の成長領域に集中し戦略的に投資
- ・ 研究開発費は継続し、競争力を維持/強化
- ・ 戦略的M&A枠設定（新成長領域/コア事業周辺領域）

株主還元

- ・ 配当性向**25%以上**を目標に継続的かつ安定的に配当
- ・ 成長投資資金は確保しつつ、業績に応じた配当を実施

資本政策

- ・ Net DEレシオをAlphaTheta買収後の実績0.40倍以下を目安にマネジメントし、財務健全性を維持（コロナ禍においては経済環境の変化に備え、運転資金として売上収益の1年分を確保）

*1 キャッシュコンバージョンサイクル

1 本計画の位置付けとこれまでの進捗

2 今後の事業重点施策と財務戦略

3 Appendix

Appendix

ノーリツ鋼機グループ事業概要

MANUFACTURING

ものづくり

●PARTS/MATERIALS

部品・材料

●AUDIO EQUIPMENT/PERIPHERALS

音響機器関連

HEALTHCARE

ヘルスケア

●MEDICAL INFORMATION

医療情報

●MEDICAL TESTING

医療検査



テイボー株式会社

ノーリツ鋼機グループの基盤事業であるものづくり事業セグメントの中核企業として、世界トップシェアのペン先事業を中心に、卓越した技術開発力でコスメ事業やMIM事業など新分野へ挑戦し、新たな市場を開拓する

社会的問題・ニーズ

- 日本が誇るものづくり技術の継承
- 中小・地方発のグローバル企業

私たちが提供できる価値・サービス

- 長年培ってきた技術開発力であらゆる先端部品・部材及び極小部品を提供し、世界中のお客様メーカーのニーズに応える
- ニッチ市場における圧倒的なグローバルシェアで、日本の中小ものづくり企業市場におけるリーディングカンパニーであり続ける

会社概要

会社名： テイボー株式会社（ノーリツ鋼機100%子会社）
 代表者： 代表取締役会長 高原建司
 資本金： 50百万円
 主要株主： ノーリツ鋼機株式会社（100%）
 事業内容： 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野
 先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材
 （合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売
 グループ会社： 泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
 マーキングペン先部品の中国（江蘇州）における製造・販売拠点
 株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
 コスメ用ペン先部材の製造・販売

主な沿革

1896年 「帝国製帽株式会社」として創立
 1981年 「テイボー株式会社」に社名変更
 1993年 浜松テクノポリスに「都田技術センター」完成
 1994年 金属射出成形（MIM）による金属部品の製造販売開始
 1998年 都田技術センター内にMIM工場（新館）完成
 2008年 都田技術センター内にペン先研磨工場（南館）完成
 2012年 泰宝制筆材料（常熟）有限公司（中国江蘇省）設立により中国進出
 2015年 ノーリツ鋼機グループ入り
 2018年 都田技術センター内に「新技術棟NEXT」完成
 2019年 コスメブラシ穂首オートメーション製造メーカーのソリトンコーポレーションがグループ入り
 2020年 都田技術センター内にMIM新工場竣工予定

主要事業



※中空の鋳物を作るための鋳型を成形する技術→中空（製品の内部が空洞となった形状）の金属部品を作る技術

AlphaTheta株式会社

「音楽で人をつなぐ」
創造力で音楽の可能性を広げ、よろこびに満ちあふれる世界を実現
グローバルトップシェアを誇る「Pioneer DJ」で知られるブランドで
革新的な商品・サービスを創造し、音楽文化の発展に努める

社会的問題・ニーズ

- 日本が誇るものづくり技術の継承
- 産業におけるアーティストの地位向上、アーティストの創作活動の保全

私たちが提供できる価値・サービス

- CDJに代表される世界初の商品を生み出してきた技術開発力と世界トップシェアのブランド力で、プロフェッショナルからコンシューマーまで幅広いニーズに対応し音楽文化の浸透創造を支援する
- 独自プラットフォームを中核に「人」「モノ」「コト」をつなぎ新たなコミュニケーションを通して新しい音楽表現、演奏スタイルを提案しアーティスト活動を支援する

会社概要

会社名： AlphaTheta株式会社（旧Pioneer DJ株式会社）

代表者： 代表取締役社長 片岡芳徳

資本金： 1億円（2019年12月31日現在）

主要株主： ノーリツ鋼機株式会社

事業内容： DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・および販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

販売子会社： AlphaTheta EMEA Limited

AlphaTheta Music Americas, Inc.

AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.

主な沿革

- 1994年 パイオニア株式会社の一事業として世界初のフラットトップ型DJプレーヤーCDJ500の発売
- 1995年 世界初“BEAT EFFECT”を搭載した初代プロDJミキサーDJM-500を発売
- 2012年 スマートフォン接続も可能にしたプロDJ向けマルチプレーヤーCDJ-2000NXSを発売
- 2014年 クラブクオリティを追求したプロ用アナログターンテーブルPLX-1000を導入
- 2015年 パイオニア株式会社より株式分割により事業独立。本社をパイオニア株式会社旧川崎本社に設置
- 2015年 楽曲管理アプリケーション「rekordbox™」で独自開発したDJプレイ機能「rekordbox dj」を搭載したver.4.0にアップデート
- 2015年 本社を神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番地5号の横浜アイマークプレイスに移転
- 2016年 音楽プロデューサー/DJ/ライブパフォーマー向けに多彩な表現で直感的に音楽製作ができる「TORAIZ SP-16」を発売。楽曲製作市場へ本格参入
- 2019年 横浜にDJスクールPioneer DJ横浜Labを開校
- 2020年 「AlphaTheta株式会社」（アルファシータ）に社名変更
- 2020年 ノーリツ鋼機グループ入り

主要事業

1994年より、CDJプレーヤー、DJミキサーを軸としたDJ機器を商品開発・設計・販売。

2016年～

直感的に音楽制作ができる「TORAIZ」シリーズを発売。楽曲製作市場へ本格参入

2013年～

長年培ってきた音づくりのノウハウを活かし、CLUB用スピーカーなどの業務用音響機器の開発・設計



JMDCグループ

社会的問題・ニーズ

- 本格的な高齢化社会の到来
- 政府主導による“健康経営”の浸透
- 医療費の増加、介護負担の増加にともなう医療費の抑制
- 健康寿命の延伸

「健康で豊かな人生をすべての人に」
データとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現
医療ビッグデータが持つ可能性を追求し新たな価値創造、社会へ還元

私たちが提供できる価値・サービス

- 健保組合等を通じて得たデータの第三者への提供・販売、個人向け健康情報プラットフォーム
- 遠隔画像診断サービスの提供
- 薬局向けレセコン・電子薬歴の開発・提供

会社概要

会社名： 株式会社JMDC
代表者： 代表取締役社長兼CEO 松島陽介
資本金： 34億1,247万円（2019年12月15日現在）
主要株主： ノーリツ鋼機株式会社
事業内容： 医療統計データサービス

主な沿革

2002年1月 会社設立
2003年12月 製薬会社向け医療DB Quick Analysis（QA）販売開始
2005年8月 製薬会社向け医療DB P-MarketBase（PMB）販売開始
2005年11月 製薬会社向け医療DB D-MarketBase（DMB）販売開始
2008年8月 製薬会社向け医療DB JMDC Data Mart（JDM）販売開始
2012年4月 保険者・事業主向け保健事業支援ツール「健助」販売開始
2013年5月 ノーリツ鋼機グループ入り
2015年6月 ヘルスデータ・プラットフォーム株式会社を子会社化
2018年 株式会社ドクターネット、ユニケソフトウェアリサーチグループ、株式会社クリンタルを子会社化
2019年12月 東京証券取引所マザーズ上場

主なグループ会社

株式会社ドクターネット
株式会社ユニケソフトウェアリサーチ
メディカルデータベース株式会社
NSパートナーズ株式会社

ビジネス概要

ヘルスケアバリューチェーンのプレーヤーに対しさまざまなサービスを提供すべく準備を整えています。その取り組みの結果として得られたデータとノウハウが当社の強みを引き上げます

ビジネス運営主体		ビジネス概要	顧客	KPI
ヘルスビッグデータ事業	JMDC	データ利活用（2次利用） 健保や医療機関などの疫学データを匿名加工化し提供	製薬会社、生損保会社、研究機関、医療機器メーカーなど	・契約企業数 ・顧客1社あたりの年間取引額
		生活者・保険者向け（1次利用）データ分析および健保組合員向けのICT「PepUp」プロダクトの提供	健保組合、自治体、事業主など	・母集団数 ・PepUp ID発行数 ・年間5000円以上のサービス利用者人数
	MDB	医療機関向け薬剤DBや医療機関の経営改善に資するデータ分析の提供	医療機関、薬局など	・契約施設数 ・データ獲得患者数
遠隔医療事業	ドクターネット	遠隔画像診断サービスの提供	医療機関、検診センターなど	・契約施設数 ・契約読影医数 ・施設当たり依頼数
調剤薬局支援事業	ユニケソフトウェアリサーチ	薬局向けレセコン・電子薬歴の開発・提供	調剤薬局など	・契約施設数 ・月額課金率



NKメディコ株式会社

脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査「LOX-index®」をはじめとする
様々な予防医療サービスを提供
日本発、予防医療のグローバルカンパニーを目指す

社会的問題・ニーズ

- 本格的な高齢化社会の到来
- 政府主導による“健康経営”の浸透
- 少子高齢化に伴う医療・介護需要の拡大、医療費の増加、介護負担の増加

私たちが提供できる価値・サービス

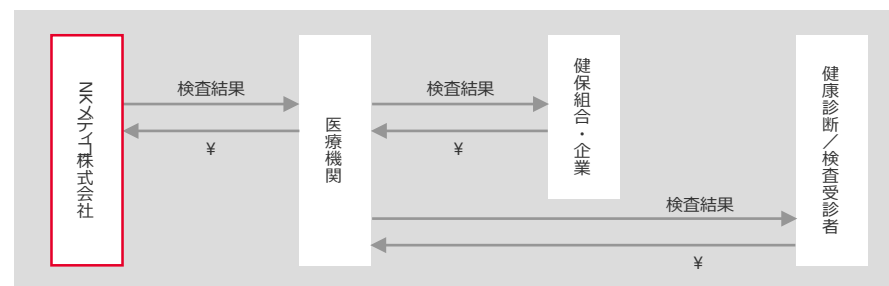
- 疾病のリスク検査/早期発見検査
- 予防医療の普及による、より良い社会への貢献
- 医師のネットワークを活かした品質の高いサービス（検査）の提供

会社概要

会社名： NKメディコ株式会社
 代表者： 代表取締役社長 富永 朋
 資本金： 1億2,000万円（2019年3月期末）
 主要株主： ノーリツ鋼機株式会社（100%）
 事業内容： 予防医療事業、最先端医療の技術研究・開発事業
 従業員数： 正規社員21名、非正規社員6名（2019年3月期末）

事業モデル

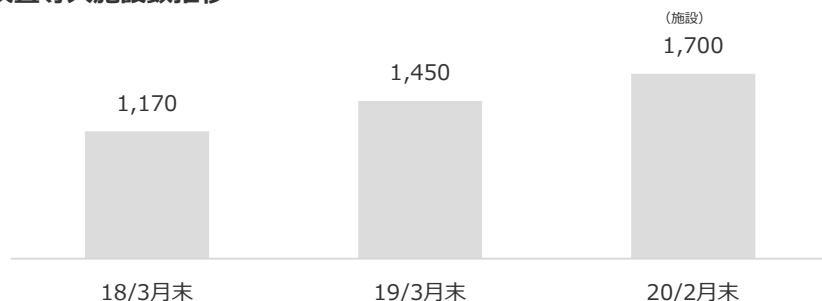
- 事業開始時からの強みである医師との太く広範なネットワークを活用し、医師・患者にとって安心できるサービスを提供。また、最先端医療技術シーズの事業化も支援



主な沿革

2010年7月 医療分野の事業開拓を行うNKメディコ株式会社をノーリツ鋼機100%子会社として設立
 2012年6月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の提供を開始
 2017年8月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の累計受診者数が 10 万人を突破
 2019年1月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の累計受診者数が 20 万人を突破
 2020年3月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の累計受診者数が 30 万人を突破

検査導入施設数推移



主要サービス

- LOX-index®
 - 脳梗塞（日本人の主要な死因の第3位）、心筋梗塞（同第2位）のリスク検査で、全国1,700施設以上が導入、累計30万人が受診（2020年2月末現在）
 - たった2mlの採血により、動脈硬化の原因物質を測定。既存の検査項目では判定が難しかった動脈硬化の初期段階から、プラークの進展、脳梗塞・心筋梗塞などの疾患の危険度まで、幅広くカバーできる検査項目を採用
- このほか、認知症スクリーニング検査、乳がんリスク検査、消化器がんのスクリーニング検査、慢性腎臓病のリスク検査、健康年齢®レポート、アンチエイジングドックなどの体質検査、腸内フローラ検査、遺伝子検査などを提供

LOX-index®
 ロックス インデックス

本資料に記載されているいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。